

素であること

— 生活の“寸法” —

講師 坂田和實氏 (古道具坂田)

日時 2009年4月15日(水) 15時〜17時

場所 総合地球環境学研究所(地球研)講演室



素であること
— 生活の「寸法」

美しさは知識からは見えてこない。
自由な眼と柔らかな心はその扉を開く鍵らしい。
ムツかしい理論よサヨウナラ。
高い品物の中にしか美しいものがないと信じている人、ゴク로우さま。
小心者の僕にできることは、迷いながらも耳を澄まし、目線を低くして、
ソーツと足を一步踏みだすこと。
それは自分の選択のモノサシを、明るい太陽の下で、他人の眼による批評にさらすこと。
そのモノサシを使いに使いきった時、
目もりはいつかボヤけてしまい、ものの良し悪しを計る役割を超え、
すべてをありのままに、優しく受け入れる“只”の存在になるのではないか。
そう信じて進む以外に、今の僕には道がない。

(ひとりよがりのものさし 坂田和實著 新潮社 より抜粋)

今回のテーマは「素であること」。素足、素顔、素っぴんの「素」。
知識まみれの頭を開放して、あるがままにものを見ることの大切さを
あらためて考えていけたらと思っています。

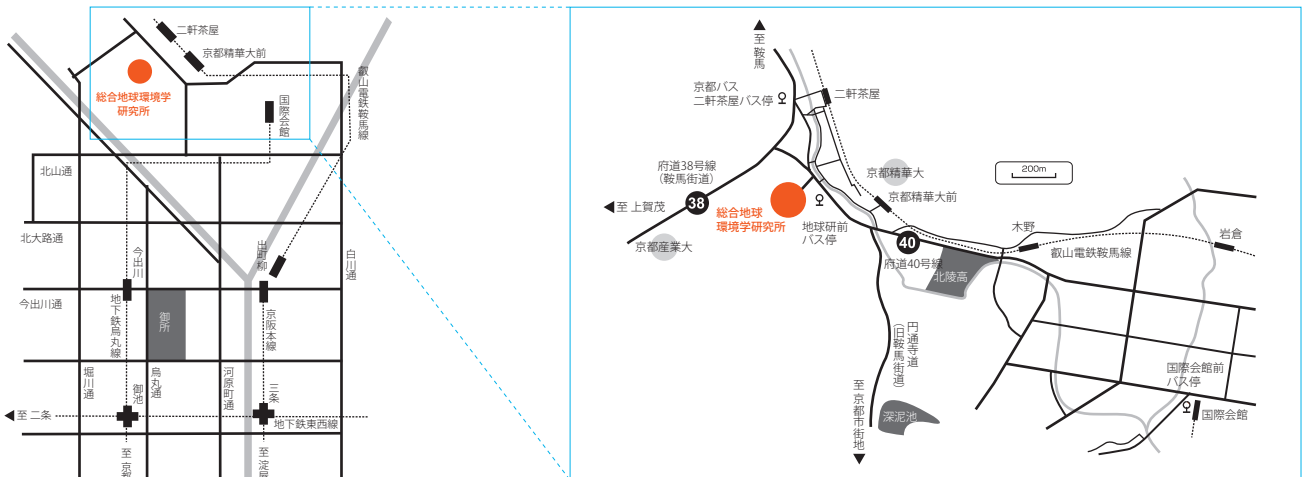
講師：坂田 和實 SAKATA Kazumi

「古道具坂田」主人。1945年福岡県生れ。上智大学卒業後、商社勤務を経て、1973年東京・目白に古道具屋を開く。以来年に数回、海外へ仕入の旅に出かけ、ヨーロッパ、アフリカ、朝鮮、日本、南米など、さまざまな国の品物を扱う。1994年千葉県に美術館 as it is (設計=中村好文)を開館。主著に『ひとりよがりのものさし』(新潮社、2003年)、共著に『骨董の眼利きがえらぶ ふだんづかいの器』(新潮社、2002年)、『素と形』(ラトルズ、2006年)、『日本民藝館へ行こう』(新潮社、2008年)など。



日時：2009年4月15日(水) 15:00～17:00
会場：総合地球環境学研究所(地球研)講演室

主催・総合地球環境学研究所 文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」(里プロジェクト)
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project>



- JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」より
京都市営地下鉄丸線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館駅バスターミナル2番乗場から
京都バス40系統(京都産業大学行き)もしくは50系統(市原ゆき)にて(約10分)、「地球研」下車スグ。
- 京阪「出町柳駅」より
叡山電鉄鞍馬線に乗り換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。
- 車・タクシーでお越しの方は
国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。

聴講無料・申込不要

お問合せ 環境思想セミナー担当 鞍田 崇 (地球研・研究員)
075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp

次回予告

vol.20 2009年5月13日(水) 「うるわしの暮らし：聴竹居との出会い」
講師・栗本夏樹氏(漆作家・京都市立芸術大学准教授)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所(地球研)
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
<http://www.chikyu.ac.jp>